

令和1年6月8日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや
(指定管理者：(特活)あしやNPOセンター)
事務局長 橋野 浩美

トライやる・ウィーク受入事業報告

- 1 日 時：令和1年5月20日(月)～6月7日(金)
- 2 学 校：精道中学校2人 山手中学校3人 潮見中学校2人
- 3 協力団体：(社福)三田谷治療教育、みどり地域生活支援センター、
(認特)フードバンク関西
- 4 目 的：ボランティア、NPOとは何かを理解してもらい、市民活動団体の支援
の場である市民活動センターの存在を若い世代から理解していただくこと。
- 5 内 容：NPOとは(NPO団体の活動体験と座学)
センターの機能を知る。(センター内ふしぎ発見と機器体験等)
ボランティア、市民活動の見学(障がい者施設の訪問と座学)
地域の課題解決のためのコミュニティビジネス企画立案
成果発表会(最終日)
- 6 評 価：1日の目標と振り返りは毎日行い、達成度を増していけるような仕組みにした。学生たちは、自己アピールすることが徐々に出来るようになり、達成した背景まで説明できるようになった。特に、地域の課題解決のためのコミュニティビジネス企画は、身近なものからよく考え出され、また、それらの案に当職員がアイデアを重ね、さらに興味深いものとなった。実現できる日が楽しみに思えた。
他団体訪問は、障がい者施設とNPO法人であった。2カ所共に良い刺激となり、保護者にも伝え共通の話題となったようだ。今後、彼らが市民活動に興味を持ち、このセンターを利用していくことを期待している。
- 7 振り返り：毎朝のオリエンテーションと終了の振り返りは専任し、プログラム毎には担当で分担し、他団体訪問は全職員交代で取り組むことで、職員の研修にもなり、学生たちもどんな職員が何を担当しているのかを理解していただけたようだ。最終日の発表や、イベント(市民活動フェスタ)では利用者とのコミュニケーションを持つ場を設けることができたが、より多くの方々とのふれあいまでは難しかった。



精道中学校 (5月20日~5月24日)



山手中学校 (5月21日~6月1日)



潮見中学校 (6月3日~7月7日)